

生きとつてくれてありがとう

# 夕風の街 桜の国

田中麗奈  
麻生久美子  
吉沢 悠  
中越典子  
伊崎充則  
金井勇太  
藤村志保  
堺 正章

監督:佐々部 清

『半落ち』第二十八回日本アカデミー賞最優秀作品賞

原作:こうの史代

『夕風の街 桜の国』(双葉社刊) 第八回文化庁メディア芸術祭大賞 第九回手塚治虫文化賞新生賞



田中麗奈 麻生久美子 吉沢 悠 中越典子 伊崎充則 金井勇太 田中涼成 栗田 麗 藤村志保 堺 正章

製作:松下順一 企画プロデュース:加藤東司 プロデューサー:白井正明 米山 紳 監督:佐々部 清 原作:こうの史代(『夕風の街 桜の国』双葉社刊) 脚本:国井 桂 佐々部 清 音楽:村松崇雄 (ハープ演奏:内田奈織(テイクマンタテインメント))

撮影:坂江正明 美術:若松孝市 照明:渡辺三雄 録音:高野泰雄 編集:青山昌文 装飾:藤澤 武 スクリプター:山下千鶴 キャスティング:杉野 剛 助監督:山本 亮 製作担当:吉崎秀一 製作プロダクション:円谷エンターテインメント/シネムーブ

製作:アートポート セガ/住友商事 読売テレビ放送 東北新社 TOKYO-FM 双葉社 東急レクリエーション 読売新聞大阪本社/ビッグショット/シネムーブ 広島テレビ 山口放送 福岡放送

文部科学省特別選定 支援:文化庁 青少年映画審議会推薦 日本映画ペンクラブ推薦 日本PTA全国評議会特別推薦 東京都知事推薦 広島県知事推薦 広島市後援 広島市教育委員会後援

双葉社創立60周年記念事業 読売新聞大阪発刊55周年記念事業 読売テレビ開局50周年企画映画 広島テレビ開局45周年記念映画

配給:宣伝:アートポート Art Port www.artport.co.jp 2007年 日本 118分 35mm カラー ビスタ 既習製 ©2007『夕風の街 桜の国』製作委員会

www.yunagi-sakura.jp

広島―ふたつの時代に生きるふたりの女性を通して、いま、生きる喜びを痛感する。

広島のある 日本のある  
この世界を 愛するすべての人へ

日本から世界に伝えたい——。

各メディアから絶賛された感動の物語が遂に映画化。

広島原爆投下から10年後と現代に生きる2人の女性を通して、  
現在までに至る原爆の影響を描いた、この史代原作「夕風の街桜の国」。

その難しい題材を扱った内容にも関わらず、  
韓国、フランス、アメリカ、オーストラリアなど十カ国で出版され、  
海外でも注目を集める感動の物語が遂に実写映画化。

監督は「半落ち」、「出口のない海」など、人間と家族の思いを見つめ続け、  
情感溢れる秀作を生み出した佐々部清。今また切なくも温かい  
命の尊さを語りかける名編がここに誕生した。

この人生、すべて愛おしい——。

何気ない日常生活、家族や恋人との愛にあふれた人生から感じるのは、生きることの喜びと平和への願い。



### 「夕風の街」

昭和三三年、復興が進む広島で、平野皆実（麻生久美子）は母親・フジミ（藤村志保）と貧しくも平穏に暮らしている。弟・旭（伊崎充則）は戦時中に水戸へと疎開し、そのままおば夫婦の養子になっていた。ある日、皆実は会社の同僚・打越（吉沢悠）から愛の告白を受ける。しかし、原爆で自分が生き残った罪悪感を感じる皆実は、幸せに飛び込んでいけない。そんな皆実の想いを打越は優しく包み込む——。

### 「桜の国」

平成十九年、夏の東京。定年退職した旭（堺正章）と一緒に暮らす娘の七波（田中麗奈）は、父親の最近の行動を心配していた。今夜も一人、家族に内緒で出かけていく旭のあとをつけてみると、広島へと行き着く。七波は、広島で旭が立ち寄る先や会う人々を遠目に見ていくうちに、亡くなった祖母・フジミや伯母・皆実へ思いをめぐらせる。七波は、家族や自分のルーツを見つめ、広島でかけがえのない瞬間を過ごしていく——。

## 夕風の街 桜の国

監督:佐々部 清 原作:この史代「夕風の街 桜の国」(双葉社刊)

脚本:国井桂 佐々部清 出演:田中麗奈 麻生久美子 吉沢悠 中越典子 伊崎充則 金井勇太 藤村志保 堺正章

## 平和を考える市民映画会

【日時】 10月18日(日) 午後1時30分開演  
【会場】 明野公民館(イル・ブリランテ)  
【内容】 平和朗読劇(はらんきょうの会)  
映画「夕風の街 桜の国」

■主催 筑西市  
■後援 筑西市教育委員会  
■問合せ 筑西市総務課  
TEL 24-2111(内線332)

**入場無料**